

京島

下町人情商店街

京島地区には、「下町人情キラキラ橋商店街(昭和60年に公募により名称決定)」と「たから通り商店会」とあり、お客さんとのふれあいを大切にしている「下町人情商店街」です。
キラキラ橋商店街は、昭和2年に設立された古い街道沿いの商店街で、歴史あるお店が多く残っている一方、新しいお店も増えてきています。

一方、たから通り商店会は、昭和23年に設立された幹線通り沿いの商店街です。
2つの商店街とも、中元、歳末の大売出しや一年を通じて様々なイベントや催しを行い、多くの人で賑わいます。
また、京島には戦前からお店を営む豆腐屋や魚屋、もんじゃ焼き屋などの店舗が点在しており、中でももんじゃ焼き屋の歴史は古く東京のもんじゃ焼きの発祥の地とされ、駄菓子屋のもんじゃ遊びから発展したものです。
お惣菜やパンなどの手作り食品が充実しており、地域に住んでいる方々が、あちらこちらで買い物を楽しみながら会話を楽しむ風景がとけこむ街です。

路地とコミュニティ

複雑に入り組んだ、見通しのきかない曲がりくねった路地と、今に残る古い木造家屋によって、訪れた誰もが突然タイムスリップしたような感覚を味わうことが出来ます。
無数に重なり合う路地は、大正時代以降、平屋長屋や四軒長屋などともに形成されました。
また、今も昔も公私を分ける塀に代わって鉢植えなどが並び、路地に彩りを添えています。
路地、建物、人が織りなす京島の「ふれ合い溢れ合うまちの佇まい」は、下町人情溢れるまちの風景として映し出されます。

たから通り商店会の年中行事

○中元大売出し 7月
○歳末大売出し 12月
セール期間中にティッシュペーパー、ごみ袋等を配布しています。
近所に大規模店がある中で、頑張っています。

下町人情キラキラ橋商店街の年中行事

○朝市
35年以上の歴史があり、遠方から来られる方も多く、大変有名な朝市です。
毎月第4日曜日(12月のみ第2土曜日)
AM6:00~10:00

○びっくら市
キラキラ橋で35年以上続く伝統ある販売イベントです。参加店がバーゲンや目玉商品をそろえています。
2・4・6・10月第2木・金・土曜日
12月29・30・31日

○ワイワイウィーク
宝くじを発行したり、こどもの日には商店街を開放して綱引き、ビンゴ、ゲーム大会、模擬店、フリーマーケットが開催されます。
4月25日~5月5日頃

○七夕祭り
7月7日を中心に、各個店が協力し合い商店街の通りが七夕飾りであふれます。区長賞、理事長賞等のコンテストも行われています。
7月7日前後4日間

○夜市
商店街を開放し、子どもたちに商店街で遊んでもらうイベントです。各個店が露店商になり、金魚すくい、わたあめ、ゲーム等を行い、毎年子どもたちに喜ばれています。
9月第1土曜日

○つまみぐいウォーク
つまみぐいチケットを購入し、商店街自慢の美味しいものの食べ歩きが楽しめるイベントです。
千葉商科大学と連携し、年3回(春・夏・秋)開催しています。

○中元福引大売出し 7月
○歳末福引大売出し 12月

京島のみちと路地

⑧旧鶴土手通り
京島で最も古いみちで、隅田川白鬚の渡しから地蔵坂通り、鶴土手橋、香取宮(神社)、平井聖天へと続くみちです。
鶴土手とは、現在の曳舟駅付近にあった土手に鶴が多く飛来していたことに由来する名前です。
明治時代、このみちなりにつくられた家々が最初のまちです。この時代は、農業用水沿いの土手や、農道、畑地など畦道が自然と道となり、生活道路となることで京島の骨格がたちつくられました。

⑥旧虎橋通り
原忠証券という会社を営んでいた原忠三郎によりつくられたみちです。
虎橋とは、現在の押上三丁目に原がつくった石橋の名前に養母の「とら」の名を使ったことに由来している。
また、原忠三郎は京島三丁目にある原公園や田丸神社もつくっています。

③明治通り
都市計画よりつくられた環状道路で、大正12年の関東大震災復興のために整備され、昭和7年に開通しました。名称は公募によって明治通りと決まりました。

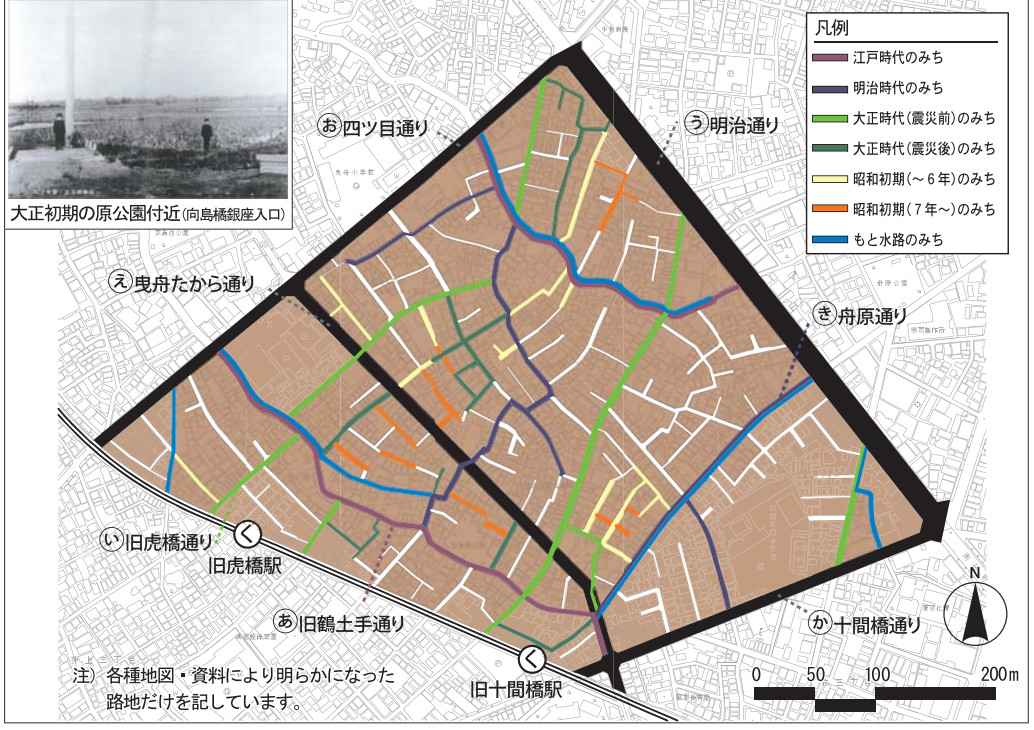
⑤曳舟たから通り
都市計画によってつくられた道路で、昭和11年に開通しました。また、この通りにはかつて「たから湯」という銭湯がありました。

⑧四ツ目通り
都市計画よりつくられた道路で、昭和15年に開通しました。隅田川から4つ目の道路ということで、四ツ目通りと名付けられましたが、長年住民からは「山口ガーデン通り」や「押上通り」と呼ばれていました。

④十間橋通り
都市計画によって拡幅された道路。明治の初めごろに架橋されたといわれる十間橋と繋がっています。

⑤舟原通り
通り北側周辺が「吾嬭町小村井字舟原」という地名であったことから、住民からは舟原通りと呼ばれています。

③鉄道と駅の設定
東武伊勢崎線が明治35年に開通し、曳舟駅が設置されました。また、東武戸線が明治37年に開通し、昭和3年にとらばし通り、十間橋通りの2駅が開業し、戦中まで営業を続けました。
一方、京成押上線は、大正元年に開通しています。

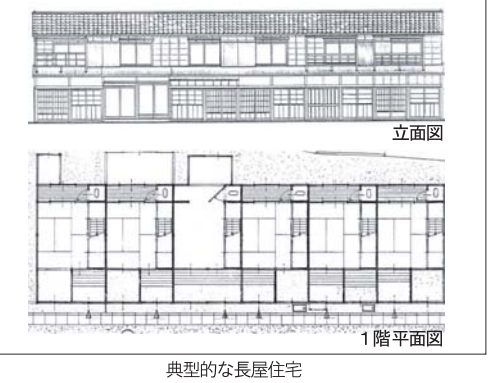


戦中・戦後の京島

昭和20年の東京大空襲では、地域住民の必死の努力により、奇跡的に焼失を免れた数少ない地域の一つです。
戦後はさらに木造の家屋が密集した住宅地区となり、狭い路地に生鮮品や惣菜店がひしめき賑わう橋銀座商店街に象徴される、高度成長の活力の源となった下町でした。
昭和40年に実施された住居表示により、従前、吾嬭町西一丁目・四丁目、寺島町四丁目といわれてた地域の一部が「京島」に改名されました。
昭和50年頃には町工場の移転や人口減少、古い木造家屋の危険性など、まちの衰退の危機に直面しました。
昭和55年から東京都、墨田区の協力によるまちづくりが始まり、昭和57年に「まちづくり計画の大枠」を策定し、良好な住環境のまちを目指したまちづくりが35年以上に渡り行われています。

商業・工業のおこり

京島では多種多様な工業が発達し、それと共に商業も発展しました。大きな工場群が立地した押上方面と京島を結ぶ道は、明治末期から大正時代につくられ、とらばし通り、十間橋通りは商店街として賑わいを見せました。
また、現在京島で最も賑わいのある橋銀座商店街も、昭和2年に設立され、旧橋館(映画館)と旧愛国橋派出所、吾嬭西四郵便局、原公園などをつなぐシンボルストリートになりました。
そして、商店街でつくられる惣菜が、木型・金型・プレス加工といった数多い家内工業を営む忙しい家庭の食卓を支えました。
このように、京島において商業と工業は、深く結びついて発展しました。

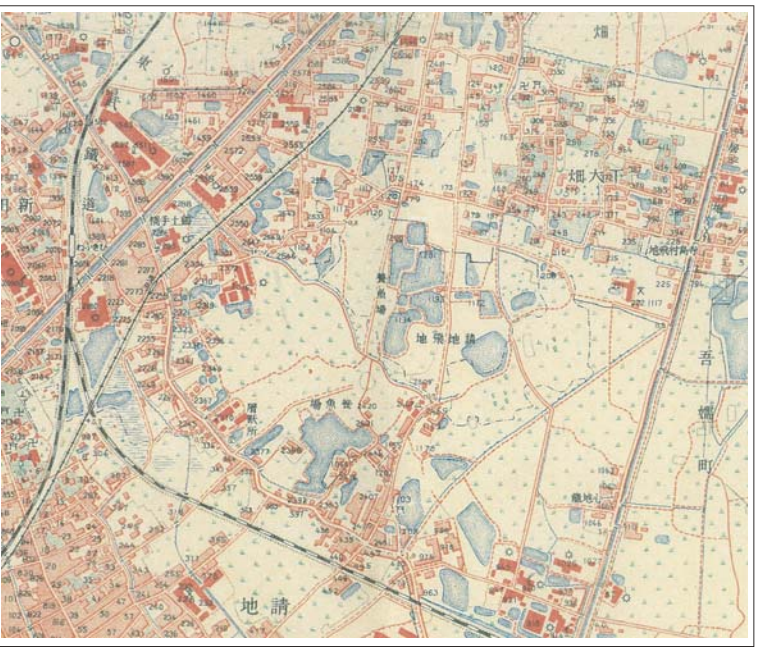


長屋の今昔

震災、戦災後の住宅供給や工業、商業の発展に伴い、京島は長屋のまちとして形成されてきました。商店街の看板建築などは現在も少なくはなりませんが、残っています。
近年、地場産業の活力低下や、プライバシーの問題から長屋は数を減らしていますが、京島では長屋を改修してギャラリーやアトリエ等として、再活用するケースもみられます。

農地と養魚池

江戸時代の京島地区は、人がほとんど住んでいない低湿地の農地であり、明治時代までは農地として活用されていました。また、大正時代には、京島地区は多くのため池があり、金魚養殖等が盛んに行われていました。



活発な祭・催し・町内活動

地元の祭やイベントは、主に地区内の7つの町会を単位とし、各町会の特色を持ちながら積極的に行われます。老人会や子供会、消防団など町会の範囲を超えて行われる活動もあります。

○祭礼
各町会が氏子となっている高木・飛木稲荷・香取の3箇所の神社単位で、6月または9月に行われます。神輿や山車が毎年威勢良くでています。地区によっては、年番や獅子頭といった神事を今も続けています。年番は香取神社の全氏子宅を30人余の青年が二頭の獅子を担いで回ります。

○盆踊り
町会で、そろいの浴衣を身につけた女性の踊りなどが毎年華やかに行われています。

○防災訓練
京島地区の防災意識は強く、防災体制も整っています。また、スタンドパイプ等を使う防災訓練が、住民参加で行われます。

○リサイクル活動
リサイクル活動の一環として、各町会で紙・瓶・缶の資源収集の組織をつくり、熱心な活動を行っています。

○清掃活動
公園・広場の清掃活動も大勢で実施しきれいな公園・広場の維持に努めています。

○京島文化まつり
25年以上の歴史をもつ文化祭で、地元住民からなる実行委員会によって運営しています。毎年、書・絵画・手工芸品の展示や各町会により模擬店、ステージイベント、フリーマーケット、フォトコンテスト等で賑わっています。

京島オリジナル製品の販売

地元工業の後継者団体「京島・共栄会」が、慶応義塾大学の協力、墨田区、墨田まちづくり公社の支援を受け、製品開発を行いました。平成16年3月に鉄を素材としたオリジナル製品が完成し、オーナーズ・ステージH.T.M(京島一丁目23-2)等で販売されています。

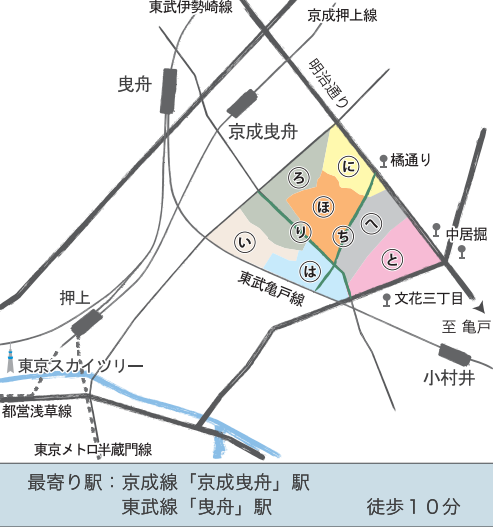
京島ロジコミマップ

「京島ロジコミマップ」は、京島二・三丁目を対象とし、まちの財産である路地とコミュニティ、古いものや懐かしいもの等自分たちで集めた情報によるまちの地図として作製しました。
製作にあたっては、町会や商店会を中心とし、近年京島地区に移り住んできた方やまちづくりに興味のある学生など多くの方と協力しました。
初版のロジコミマップは、平成13年9月から情報の収集やマップ全体のイメージについて議論を重ねました。

平成15年8月からは、東京理科大学、早稲田大学の支援を受け、まち歩きや町会インタビューなどによる情報収集を行い、平成16年に「京島ロジコミマップ」としてまとめました。
平成22年末からは、初版発行から6年が経過したことで、改めて京島のまちを見つめ直し、新たな見所の発掘に力を入れました。平成23年2月には住民の案内によるまち歩きを開催し、総勢約50名の方が参加し、まちの魅力探しを行いました。合計20箇所以上の加筆修正を行い、平成23年10月に改訂版を作製しました。
改訂版発行から6年が経過し、長屋の建替えや路地の拡幅等により、京島のまちの景色が変わってきました。
そこで、平成29年6月より第3版改訂に向けて取組みを始めました。
第3版では「京島を訪れた方のまち歩き」をテーマに地元住民がおすすめしたい路地や風景、店舗などを取りまとめ平成30年11月に第3版が完成しました。

京島文化まつり(H22.10) マップ掲載内容の認知度や愛着度を調査しました。
京島文化まつり(H23.2) おすすめしたい風景や店舗などを聞き取りました。
京島文化まつり(H29.11) おすすめしたい風景や店舗などを聞き取りました。

アクセス



編集 京島地区まちづくり協議会 発行 一般財団法人 墨田まちづくり公社

協力団体
④京島二丁目町会 ③京島南町会
⑤京島二丁目協和町会 ⑥京島三丁目北町会
④京島三丁目中央町会 ⑦京島三丁目東町会
⑤宮田町会
⑤下町人情キラキラ橋商店街
⑥たから通り商店街
平成30年11月 第3版発行
©ロジコミ京島

1 路地

- 1-01 珍しい6差路の路地
- 1-02 縦横に緑が連なり、時には人が集まる古い路地
- 1-03 一部に町屋風の長屋が並び昔の面影を残す路地
- 1-04 NHK「小さな旅」の舞台となった路地
- 1-05 昔の家並みや人の集まる施設がある路地
- 1-06 大きな緑、川跡の雰囲気を感じられる
- 1-07 塀や軒下まで緑が並び、藤棚もある落ち着いた小路
- 1-08 縦横に鉢が連なる路地
- 1-09 戸建ての家並みに鉢植えが並ぶ路地
- 1-10 お稲荷さんがある、落ち着いた裏路地
- 1-11 青トタンの平屋が多い家並み
- 1-12 戸建ての家並みに鉢植えや物干しが並ぶ
- 1-13 屋間のゆとり空間に花々が
- 1-14 戸建ての路地に様々な緑が続く
- 1-15 緩いカーブの路地に中庭的な道
- 1-16 ゆったりとした路地
- 1-17 広場、工場などがある
- 1-18 鉢植えが並ぶ公園沿いの路地
- 1-19 通路が縦横に伸び、変化に富む
- 1-20 石造りの蔵があり、ゆるくカーブする
- 1-21 色々な緑が連なる路地
- 1-22 縦横に鉢が並び、小さな交差点のある路地
- 1-23 大小の緑が続く
- 1-24 クランクが多く変化に富む緑が続く
- 1-25 縦横に鉢が並ぶ
- 1-26 果実や植栽が並ぶ路地

2 長屋

- 2-01 通り両側の2階建てのほか、周辺にも長屋がある
- 2-02 2階建て・平屋建ての昭和初期建築が並ぶ
- 2-03 味のある店舗併用長屋が並ぶ
- 2-04 「青トタン」と呼ばれる平屋の長屋が連鎖する
- 2-05 縦横の路地に平屋の長屋が連なる
- 2-06 商店街沿いに店舗用の長屋が建ち並ぶ
- 2-07 長屋が残る路地

3 史跡他

- 3-01 虎橋通り
地区内を横断する昔の幹線道路。
この通りにはまだ昔の懐かしさが残る商店もある。
- 3-02 「とらばしどおり駅」跡
東武亀戸線の線路脇には、いまでも駅ホームの基礎が残っている。
- 3-03 旧鶴土手通り
江戸時代からあり、かつては隅田川から平井聖天に通じ、今もその当時の面影を感じられる。
- 3-04 「十間橋通り駅」跡
東武亀戸線と橋通りが交差するところにあった駅
- 3-05 水路の跡にできた道
水路の蛇行そのままに曲がりくねった江戸時代からの道、橋銀座通り（現キラキラ橋）には石造りの「愛国橋」もあった
- 3-06 橋館跡
通りの名ともなった映画館
- 3-07 映画撮影所（高松プロダクション）跡
阪東妻三郎主演作や「月光仮面」を撮影
- 3-08 「母さんの歌」作者の生家跡
- 3-09 「春嶺社」跡
高蒲あや先生の俳句結社があった
- 3-10 山口自転車発祥の地
かつて工場があった
- 3-11 釋妙喜童女墓石（安永8年）
- 3-12 コンクリートの古い電柱

たから通り商店会

昭和10年頃に道路拡幅し、22年頃に商店会が発足。
現在約40店が軒を連ねている。

下町人情キラキラ橋商店街

地区内屈指の活気ある商店街。
商店街名を全国から公募し、約4,000通の応募の中から選ばれ、キラキラ橋商店街となった。
全長450m、約80店舗が軒を連ねている。
毎月第4日曜の「朝市」や、商店街の美味しいものが食べ歩きできる「つまみくいウォーク」などが開かれる。

- のものづくり
- コンビニ
- バス停
- 飲食店
- 公衆トイレ
- 喫茶店、甘味店
- 路地琴
- 物販店
- ぶどうを植えている家
- もんじゃ屋
- 雨水貯水槽
- スカイツリーのフオトスポット
- 亀戸線フオトスポット
- 猫が集まる道

4 その他

- 4-01 半世紀を超えた劇団区民劇場の稽古場
- 4-02 都内最初（昭和46年）のスクランブル交差点
- 4-03 地元がつくった防災拠点。雨水利用のトイレ有
- 4-04 高齢者が集う長屋「はなみずき」
- 4-05 剣道クラブ「四吾嬢剣友会」
- 4-06 電気湯

※地図と現況の建物が異なる場合があります。ご了承ください。